

長松小学校学校だより

R6 年 12 月 17 日発行

えがおいっぱい 91 号

忠臣蔵の季節となりました

「忠臣蔵、赤穂浪士、吉良どの、大石蔵之介」・・・この季節になりました。本校の若い職員にたずねても、今 1 つのリアクションだったので、今回は忠臣蔵を記したいと思います。

忠臣蔵は浄瑠璃や歌舞伎の演目で、ずっと上演されているものです。内容は「主君のあだうち」の話です。江戸城内で刀を抜いたため、お家がおとりつぶしになった浅野家。一方の吉良家はおとりつぶしにならず、浅野の家来は浪人となって、主君のかたき討ちの機会を待ちます。

元禄 15 年 12 月 14 日ついに 47 人の元浅野家の浪士が、吉良屋敷に討ち入ります。主君の無念の思いをはらした 47 人は堂々と幕府の裁きを待ちます。切腹を言い渡され、主君のもとにいく 47 人。忠臣蔵や赤穂浪士として「忠義の話」として、250 年以上伝えられているものです。

物語になり、ずいぶんと史実と異なる面もあるのですが、250 年以上私たちの心をとらえてきた話です。「忠義」「恩を忘れない人間像」がこれまでの人々の価値として語り継がれてきたのでしょうか。今後もずっと語り継がれていくのか、時代にはなかなかあっていかないのか、これからの忠臣蔵、見つめていきたいと思っています。



今後のスケジュールについて

今月は・・・

24 日（火）終業式

1 月は・・・

8 日（水）3 学期始業式

21（火）授業参観

②低学年 ③高学年

④6 年懇談会

2 月は・・・

28 日（金）感謝の会・全校朝会

3 月は・・・

14 日（金）卒業式

24 日（月）修了式